



市民スポーツボランティア

# SV2004のご紹介

## 19年間の軌跡・「スポーツで笑顔を未来へ」

2004年9月、一般市民で作るスポーツボランティア組織として「SV2004」は仙台に誕生しました。それから時が流れ活動はもうすぐ20年目に入っています。私たちの主要な活動を振り返ります。

### 2004年 誕生

歩き始めた年.....

9月12日 発足

9月18日～23日 仙台カップサポート

SVとして初のボランティア活動

10月17日 ラグビーサポート



フリートーク基調講演は元サッカー日本代表の山田隆裕さんでした

11月14日 第5回フリートーク・フェスタ

テーマは「する・みるから支えあう楽しさへ」

12月19日 大忘年会



さまざまなネットワークが生まれました

05年2月5日 第1回東北サミットin山形



外は雪でも会場内は熱気がありました

05年2月20日 第6回フリートーク・フェスタ

テーマは「新しいプロスポーツと市民参加」、楽天野球団の島田社長 仙台スポーツリンクの中村GMがパネラーとして参加してくれました

05年3月10日・19日 楽天イーグルスボランティア説明会



宮城県ラグビー協会からSVに依頼されたボランティア運営はいい経験になりました

11月2日 仙台にプロ野球楽天イーグルス誕生決定



#### ◆ 新しいボランティア組織に向けて

04年11月からは、05年に活動を開始するプロ野球の「東北楽天ゴールデンイーグルス」、プロバスケットボールの「仙台89ERS」というふたつのスポーツのボランティア組織の立ち上げに向けて、チームはもとよりそれぞれの支援組織や行政部局とも連携し、こまかな打合せを行い準備に参加しました。

#### ◆ ボランティア同士の交流企画

新潟・山形・宮城のスポーツボランティアが交流する「東北サミット」がスタートしたのは05年のこと、持ち回りで毎年開催され既に4回が終了しています。



## 2005年 激動

誕生を待っていたかのように様々なボランティア活動の依頼が持ち込まれました

### 4月1日 楽天イーグルスホーム開幕戦

プロ野球初のボランティア活動開始、  
新しい歴史が始まりました



日本一きれいなスタジアムをめざしエコ活動

### 5月6日・8日 楽天スタジアム見学研修



突貫工事でスタジアムも開幕を迎えました

### 5月21日 泉ヶ岳アウトドア・フェスティバル・ボランティア

仙台市郊外の山を舞台にマウンテンバイク・山岳マラソンのボランティア活動



### 6月19日 スポーツボランティア講座

テーマは「スポーツボランティアってどんなもの」

### 7月31日 第7回フリートーク・フェスタ

テーマは「ボランティア・リーダーにもとめられるもの」

基調講演は長野オリンピックのボランティア・コーディネーターとして活躍した丸田藤子さん



### 8月21日 仙台スタジアム祭サポート

### 8月28日 山形芋煮会

冬のサミットに続き、「山形・新潟・宮城」のボランティア交流のイベントで2014年迄開催。

### 9月7日 サッカー日本代表選サポート

宮城スタジアムで2002年以降初の代表選、4万5千人で満員



山形風と宮城風の鍋対決で盛り上がります



最大規模のスポーツイベント、ベガルタ・イーグルス・グランディ、そしてSV2004といくつもの組織が連携して大会を支えました



### 11月5日 仙台89ERS開幕戦

3つめのプロスポーツ、バスケットボールのボランティア活動もスタートしました

### 12月18日 第8回フリートーク・フェスタ

スポーツにおけるエコをテーマとして、楽天の島田社長の話や各地の活動を学びました



### 06年2月4日～5日 第2回東北サミットin新潟

第2回の会場は新潟のビックスワンでした

## 2006年 停滞

前年の活動が活発だった分だけ、やや停滞した一年となりました

06年3月 ボランティア・ハンドブックまとめ  
2005年のボランティア講座から作成しました



5月7日 大学ラグビーボランティア



慶応大学と明治大学のラグビーのサポートを行いました

6月9日 ドイツ・ワールドカップ開催 ~ あれから4年

ワールドカップの集い、パブリックビューイングなど楽しみました

6月21日 スポーツ・エコレクチャー

スポーツのボランティアにとって、ごみの問題は共通のテーマ「研修」「交流」とともに、「環境」はSVの大切な活動課題です

8月19日~24日 FIBA世界バスケットボール選手権サポート

バスケットボールのワールドカップ、アルゼンチンやフランスなどの強豪が仙台で戦いました



SVは得意のエコの活動で大会をサポートしました



9月24日 第9回フリートーク・フェスタ



テーマは「スポーツボランティアを楽しむために」、2部では「オシムの言葉」の木村元彦さんの講演もありました

2月9日 第3回東北サミットin仙台

山形・新潟に続き仙台で開催しました。会場は宮城スタジアム、翌日はクリネックススタジアムの見学会も開催しました。

2月18日 救命講習会

## 2007年 確実

背伸びせず、「確実に」を目標に活動した一年でした。

### 07年5月26日 泉ヶ岳アウトドア・フェスティバル

毎年恒例の参加イベントとなりました。

### 07年7月21日 プロ野球パ・リーグオールスター・サポート

仙台のスポーツで取り組んでいるエコ活動が全国に紹介され、NPBが2008年に「グリーン・ベースボールプロジェクト」を立ち上げるきっかけになりました。【エコを全国に】



初めてエコやボランティア活動を来場者に紹介するブースを設置しました

### 07年10月28日 恒例エコ・セミナー開催

分別回収だけにとどまらず、電力・水など環境に関連するさまざまな活動にトータルで取り組む必要性をアピールしました。



### 07年11月から 89ERSホームゲーム花企画

89ERSのホームゲームの勝利を祈って、ボラ有志がシーズンを通じて、受け付けやトイレに花を飾りました。



### 07年12月16日 ボランティア・セミナー

恒例の企画として「楽天イーグルス・総合型スポーツクラブ」とボランティアについて話し合いました。

### 07年12月29日 bjオールスターゲーム・ボランティア

新潟で開催されたプロバスケットbjリーグのオールスターゲームにボランティアとして4名で参加しました。当日はスーツ着用での活動でした。



### 08年2月10日 スポーツボランティア入門説明会

参加のきっかけにと、4つの団体が合同で活動紹介を行いました。



## 2008年 発信

どうしたら活動を知り理解してもらえるか、2008年はSVやボランティアの情報発信に取組みました。

### 08年4月5日 スポーツボランティア・セミナー

第1部は「東京マラソンボランティア」の活動報告、第2部は「災害とボランティア」、そして第3部は「バスケットボールの基礎知識」について、参加者と一緒に考えました。

### 08年5月3日・4日 bjリーグ・プレーオフボランティア

東京の有明コロシアムで開催された仙台89ERSのプレーオフのボランティアに参加しました。

#### SVの情報発信

#### ◆ SVニュース（一般向け）

様々なスポーツボランティア活動の紹介やイベントの報告アンケート結果など全国の情報を記録し紹介しています。

#### ◆ SVだより（会員向け）

原則として前月の組織の活動についてまとめています。このほか大きな出来事については別途報告書をまとめホームページなどを通じて情報発信を行っています。



### 08年5月14日 楽天イーグルス・ボランティア・ブース・スタート

来場者にボランティア自らが活動やエコの紹介を行うブースが提案により実現しました。

### 08年6月22日 スポーツボランティア・エコセミナー

### 08年7月25日～27日 日本女子ソフトボール北京五輪壮行試合

カナダ・オランダ・日本代表が戦う北京五輪の壮行試合のサポートをしました。



6月14日  
岩手・宮城  
内陸地震

8月8日  
～ 24日  
北京オリンピック  
開催

### 08年7月27日 スポーツボランティア・入門説明会

通算二回目の企画として開催しました。

### 08年9月11日～15日 仙台カップ国際ユースサッカー大会サポート

ユアテックスタジアムを舞台に2003年から始まった大会も6年目

#### SVの情報発信

#### ◆ SVホームページ（一般向け）

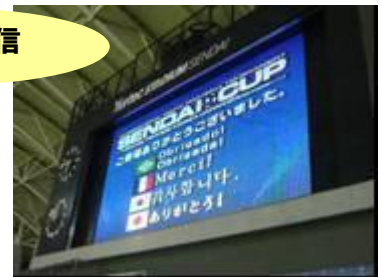
さまざまな活動報告や日々更新しているコラム、仙台のスポーツ情報などを発信しています。

<http://sv2004.jimdo.com/>

#### ◆ CANPANブログ（市民向け）

不定期でSVや関連団体のイベント情報を中心に発信しています。

<http://blog.canpan.info/sv2004/> > 現在は Facebook に移行



### 08年12月14日 スポーツ・フリートーク・フェスタ

本当にたくさんの方々に支えられて5年目を迎えた「SV2004」、これまでに感謝し、これからを一緒に作り上げていきたいと思っています。

## 2009年 連携

仙台のプロスポーツが元気だった一年、サッカーベガルタ仙台的J1昇格、野球の楽天イーグルスの初のクライマックスシリーズ進出(リーグ2位)、そしてバスケットの仙台89ERSはオールスターゲームの開催と、準備から開催まで連携しての取組がテーマとなりました。

### 09年4月1日 bjリーグオールスターゲーム打合せ

開催は2010年1月でしたが、準備はスタート

### 09年5月10日 交流 そば打ち大会

スポーツボランティアももっと楽しんでいいという発想のもと、有志で「そば打ち」大会を開催し、参加者が高い評価をいただきました。



### 09年6月28日 スポーツフリートーク(宮城スタジアム)

県民サッカーの日に合わせて、「オシムの言葉」の木村元彦さんと県サッカー協会の竹鼻純さんによる「ワールドカップが残したもの」というトークショーを開催しました。



### 09年7月19日 泉ヶ岳アウトドア・フェスティバル

毎年恒例となり、参加者も確実に増え始めました。



雨の中、泉ヶ岳の山頂から来るランナーに給水です。

女子ソフトボールの活動は恒例のものとなりました。



### 09年7月31日 国際女子ソフトボール大会ボランティア

### 09年9月5日 89ERSボランティア説明会・七夕飾り作り

bjリーグのオールスターゲームが仙台・宮城で開催されることを告知するため、チームの公式戦の際に全国をまわる「七夕飾り作り」をボランティアが手伝いました。

### 09年12月20日 フリートーク・フェスタ



今年のテーマは「仙台のスポーツとボランティア」として、楽天野球団と仙台市文化スポーツ部から、第二部では「変わるスポーツボランティアの世界」と題して、笹川スポーツ財団とうつくしまスポーツルーターズからの報告をききました。



### 10年1月30日 東北スポーツボランティア・サミット & bjリーグ・ホームタウンミーティング 1月31日 bjリーグ・オールスターゲームボランティア

バスケットのオールスターゲームにあわせて、東北スポーツボランティアサミットを主催し同時に開催されたbjリーグ・ホームタウンミーティングの開催にも協力しました。(参加者総数 131名)



翌1月31日は全国からの仲間と一緒に過去最高の6,000人を超える観客のbjリーグのオールスターゲームのサポートをしました。現在はこのときに仲間全国スポーツボランティア・メーリングリストを立ち上げ、より強いネットワークを作っています。

## 2010年 新規

2010年は新たに全国スポーツボランティアのメーリングリストを立ち上げ、全国各地の仲間との情報交換をスタート、さらに7月には仙台スポーツリレートークをボランティアの栄養補給の企画としてスタートし、次のステップに向けた取組を行いました。

10年4月21日 Tapio大学講演

年間7回の講演が仙台市教育委員会や宮城県スポーツ振興事業団などからあり、スポーツボランティアの活動への関心が高まりました。



10年5月5日 ボラ交流イベント



初のボランティア交流企画は宮城スタジアムでのドッチビー大会、約30名が参加しました。

10年7月29日 第1回 スポーツリレートーク 開催

記念すべき第1回は、宮城県ラグビーフットボール協会の菊地理事長をお招きし開催、その後毎月定期的開催されています。

### 2010年リレートーク講師一覧

8月26日 竹鼻 純氏

2月24日 遠藤 憲子氏

9月30日 竹鼻 純氏

10月13日 児玉 聡氏

10月28日 中村 彰久氏

11月25日 岩瀬 裕子氏



10年12月19日 スポーツボランティア・フリートークフェスタ

楽天野球団取締役コミュニケーション部部長の西村氏の基調講演、そして、パネルディスカッションに参加者も交えてのワークショップと充実したイベントになりました。

11年2月12日～13日 東北スポーツボランティアサミット in 福島

東北はもとより全国各地から70名を越える参加者が集まり、2005年から新潟・山形・宮城で開催されてきたイベントがはじめて、福島で開催されました。

## 2011年 復興

2011年3月11日、巨大な地震と津波が東北を宮城を襲った。時間は止まり、甚大な被害から立ち上がるために、全国からの支援を受け宮城の人々は戦った。スポーツにも大きな影響があり、中止になったもの、延期になったもの、機能を停止した施設は数知れません。

### 11年3月11日 東日本大震災 すべては一瞬にして変わってしまった

※SV2004は会員の安否確認のあと、しばらく活動を休止しそれぞれの生活再建と地域での活動を優先しました。また、年度の総会については郵送にて承認していただくこととしました。

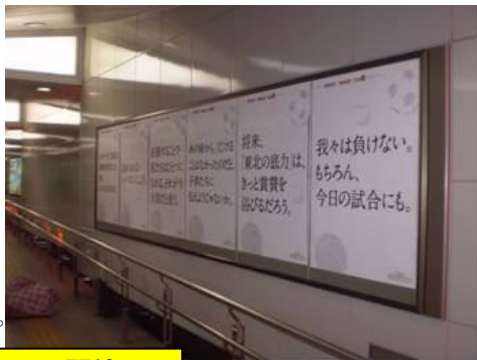
### 11年4月29日 キックオフデー

◆ベガルタ仙台・楽天イーグルスのホーム開幕

◆東北新幹線、仙台市営地下鉄の再開

そして、地下鉄の構内にはメッセージポスターが掲示されました。（作成にSV2004も協力しました）

しかし、多くのスポーツ施設の被害は大きく、仙台市体育館を拠点とする「仙台89ERS」はシーズン途中で、活動を休止に追い込まれチーム存亡の危機にたちました。



### 11年5月2日 緊急東北スポーツボランティア・サミット開催

### スポーツで 笑顔を未来へ

## 東北スポーツボランティアサミット宣言

私たちはこの度の東日本大震災からの復興に向け、スポーツを通じてたくさん笑顔を取り戻せるよう、協力して活動することを宣言します。

#### 3つの活動目標

1. 未来をになう子供たちに、スポーツの楽しさを伝える活動をします。
2. スポーツを通じて震災復興のための支援活動を行います。
3. 地域に根ざすスポーツ組織を支援する活動をします。

2011年5月2日  
東北スポーツボランティアサミット参加者一同

主催：グランディ・21ボランティア  
共催：市民スポーツボランティアSV2004  
後援：仙台プロスポーツネット  
宮城県総合運動公園

#### 活動目標

1. 未来をになう子供たちに、スポーツの楽しさを伝える活動をします。
  - (1) 子供を対象にしたスポーツを楽しむ活動支援
  - (2) スポーツ組織と連携した子供向けイベントの開催
  - (3) 子供達へのスポーツ用具の寄贈支援
2. スポーツを通じて震災復興のための支援活動を行います。
  - (1) スポーツネットワークによる復興ボラの支援
  - (2) 復興支援のための募金活動の支援
  - (3) スポーツを通じた楽しむ場の提供
3. 地域に根ざすスポーツ組織を支援する活動をします。
  - (1) 震災により継続が困難なスポーツチームの支援
  - (2) 被災地域でのチャリティイベントの開催
  - (3) 被災地のスポーツに関する情報発信

#### 活動体制

- ※ 被災地である岩手・福島・宮城のメンバーにて事務局を構成します
- ※ 当面、1年を期間としてSV-MLを通じて情報・協力の発信を行います
- ※ SV2004のホームページにて、活動に関する情報進捗・結果報告を行います。

この日、全国各地から宮城スタジアムのあるグランディ・21に、多くのスポーツボランティアが集まり震災の大きな被害に対し、自分たちができることを話し合い、その内容は「東北スポーツボランティアサミット宣言」としてまとめられ、現在まで、そしてこれからの活動の指針となっています。

### 11年6月4日 仙台89ERSボランティア決起大会

### 11年6月28日 スポーツリレートーク 再開

再開第一弾は震災で大きな役割を果たしたコミュニティFMの阿部清人さんでした。





**11年7月24日 プロ野球オールスターゲーム・サポート**

被災地復興のため、宮城・岩手・福島の順に開催されるプロ野球オールスターゲーム、その支援のため全国から40名を超える仲間が集まって、被災地からの招待の対応などに活動しました。



**11年10月10日 JOCミニ・オリンピック開催**



被災地をスポーツで元気づけるため日本オリンピック委員会が仙台市陸上競技場で開催したミニ・オリンピック。多くのアスリートも参加し、好天の中で楽しみました。



**11年11月13日 ラグビー・トップリーグ・ボランティア**

2011年は宮城県ラグビーフットボール協会との連携が多かった年、ユアテックスタジアムではベガルタ仙台的ボランティアとともに活動しました。

**11年12月10日 仙台ベルフィーユホーム開幕戦**

女子スポーツチームが生まれる

仙台を拠点とする女子のスポーツとして、バレーボールの仙台ベルフィーユが誕生し、SV2004は早い段階から支援組織の立ち上げなどに参加。このほかにベガルタ仙台に2012年から女子サッカーチームが誕生。

**12年1月21日 スポーツボランティア・フリートーク開催**

震災の影響にもふれながら、変わる宮城のスポーツについて話し合いました。メインはオシムの言葉の木村元彦氏をお招きしました。

**2011リレートーク講師一覧**

- |                |                |
|----------------|----------------|
| 6月28日 阿部 清人 氏  | 3月15日 竹鼻 純 氏   |
| 7月29日 佐藤 田鶴子 氏 |                |
| 8月25日 小林 健志 氏  | ご協力ありがとうございます。 |
| 11月4日 増田 茂樹 氏  | ごさいます。         |
| 2月8日 佐藤 一樹 氏   |                |



**サミット宣言をもとにスポーツを通じて復興に貢献していきたい**

## 2012年 拡大

震災以降さまざまな全国からの支援があり、私たちは少しずつ日常を取り戻し改めてスポーツを通じて人々の笑顔に出会うことが出来ました。そして、2012年は仙台ベルフィーユや、ベガルタ仙台レディースなど女子スポーツに活動の領域が広がり全国への感謝、そして活動の場の拡大の年になりました。

### 12年4月22日 SV2004総会及び記念講演

- ※ 総会の記念講演では、震災復興のシンボルともなった「釜石シーウェイブス」の取組について事務局の増田さんにお話しいただきました。
- ※ 4月 ベガルタ仙台レディースの開幕戦がユアスタでありました。震災による原発被害によって活動の場をうしなった元東京電力マリーゼの選手たちの、リスタートに全国の注目が集まりました。
- ※ そして、全国に支援の感謝の気持ちをこめて開催される「ねんりんピック」のボランティア募集が始まりました。

### 12年5月10日～13日 仙台国際ハーフマラソン

初の万人規模の大会となった大会は、多くの市民ランナーでにぎわいましたが一方では、ボランティアにとっては様々な課題を残すものとなりました。



- ※ 7月、東北のスポーツボランティアが集まるサミットが秋田で開催されました。各地の仲間との交流、2013年は新潟での開催が予定されています。
- そして、ロンドンオリンピック、過去最高のメダルの数、とりわけ女子のサッカーをはじめとする選手の活躍に日本中が盛り上がりました。

### 12年8月19日～27日 U-20女子ワールドカップ開催

- ※ 被災地での開催を望むFIFAの意向もあり、日本代表戦を含む3試合が開催されました。



- ※ 県内のさまざまなボランティア組織に呼びかけたくさんの仲間が活動しました。トイレにはなでしこの花が飾られていました。



## 12年10月13日 ねんりんピック宮城開会式

9月の研修会をへて、全国からの約8千人の選手・関係者と多くの観客を迎えて開会式が開催されました。



## 12年11月17日 仙台ベルフィーユホーム開幕

仙台に継続的な活動をする組織としては「ベガルタ仙台」「SV2004」「楽天イーグルス」「仙台89ERS」に続いて5つめのボランティア組織が活動を開始しました。



## 12年12月8日～9日 日本スポーツマネジメント学会開催

仙台らしく、宮城らしく、昨年の開催が震災のために一年延期された学会が開催されました。私たちスポーツボランティアも運営をサポート、合わせてボランティアの全国調査を実施しました。

## 12年12月16日 スポーツボランティア・フリートーク・フェスタ

記念すべき15回めのフリートークは、恒例の楽天イーグルスの活動報告のほか、神奈川と秋田よりボランティアの実践者を招き、各地の活動のお話しと何より楽しさについてお聞きしました。

## 2013年 区切

大きなイベントは少なかったものの、リレートークや研修会など今後に向けての地道な取り組みが進みました。また、私達がこれまでかかわってきた「ねんりんピック」や、「仙台国際ハーフマラソン」に参加した方々が、新しい仲間として加わりボラ登録者の増加に貢献することができました。

### 13年4月22日 SV2004総会及び記念講演

記念講演では仙台ベルフィーユの諸隈監督に「めざすべきもの」について、熱く語っていただきました。



### 13年5月12日 仙台国際ハーフマラソン

SV2004として大会事務局と初めて連携して活動しました



SV2004メンバーは一般ボランティアの方々と連携し、エコステーションの活動を行いました。初の集合写真、アンケートも実施し、参加された一般参加の方々との交流がスタートしました。

### 13年5月18日 仙台ベルフィーユ ボランティア感謝の集い

NEW



身の丈に合わせたイベントにということで、仙台ベルフィーユの「ボランティア感謝の集い」は会費制とし、選手と一緒にスポーツをしたり、おにぎりを作って食べたり、誕生日の渡辺選手をお祝いしました。

**13年6月9日 スポーツボランティア入門講座**



**NEW**

ハーフマラソンや前年のねんりんピックのボランティアで、継続的に活動を希望しているみなさんに、みやぎの6つのスポーツボランティア組織が一同に会して活動内容を説明し、個別の質問にもしっかり対応しました。

**(参加団体)**

**ベガルタ仙台・楽天イーグルス  
仙台 89ERS・仙台ベルフィーユ  
SV2004・グランディ 21 ボランティア**

**13年6月29日～30日 東北スポーツボランティア・サミット in 新潟**

第10回となる2014年は「仙台」での開催が決定しました。

**13年7月26日 第25回スポーツリレートーク 初のチア・学生との連携企画**

実に39名もの参加者が集まり同じスポーツをサポートする者として連携して何ができるか、考えました。  
仙台 89ERS で始まった、活動前にチアと一緒に体操する企画はここから誕生しました。



**13年8月14日 サッカー日本代表戦**



宮城スタジアム史上最高の45,883人の観客を集めて開催。全国からの仲間も含めて約450名のボランティアでサポートしました。



**13年9月26日 楽天イーグルス パ・リーグ優勝**

**13年11月3日 楽天イーグルス 日本シリーズ優勝**

**13年11月24日 楽天イーグルス 優勝パレード**

球団誕生から9年間の夢が実現しました。優勝までのひとつひとつのゲームがドラマチックであり、多くのファンに感動を与えてくれました。



**13年12月14日 スポーツボランティアフリートーク・フェスタ**

10周年記念イベントの第1弾として企画し、楽天野球団の池田副社長の基調講演、在仙の各チームの関係者とボランティアによるワークショップを開催しました。

## 2014年 分担

2014年は、過去最大規模となった「東北スポーツボランティアサミット」の仙台開催をはじめ、初の「中高生スポーツボランティア養成講座」「班活動の促進」など、関わる会員の増加と、他組織との連携が進んだ一年となりました。

### 14年4月26日 羽生選手ソチ五輪金メダルパレード

女子の荒川選手に続き仙台出身では二人目となる、フィギアスケートの羽生選手の金メダルパレードのサポートに参加しました。



### 14年5月11日 仙台国際ハーフマラソン



3年めとなるサポートは、事前の説明会のサポートや、新たに観光案内・タグ回収・写真記録などの活動も取り入れSV2004からは27名のメンバーが参加しました。

出来る限りハイタッチなどでランナーとの触れ合いを行いました。気温が高く特にフィニッシュドリンクなどで課題が残りました。SV2004ではレポートを作成し、大会事務局と反省会を開催しています。

### 14年6月21日 ~22日 東北スポーツボランティア・サミット in 仙台開催

第10回を迎えた「東北スポーツボランティア・サミット」は仙台での開催、私たちSV2004と宮城県スポーツ振興財団・楽天野球団の連携で、全国から93名の参加を迎えました。共通のテーマは「おもてなし」初日は、基調講演・事例発表のあと、kobo スタジアムの見学・懇親会。2日目は宮城スタジアムでのワークショップのあと、震災の被害が大きかった南三陸を訪問し、当時の様子をお聞きし福幸商店街にも伺いました。



14年7月18日 ボランティアとチア・学生とのワークショップ (2013年に続き二度目)

プロバスケットの仙台89ERS、同じチームを好きで支える人が集まり、連携することで何ができるか。今年も約40名の参加者を集めて開催されました。



14年9月14日 新潟アルビレックスBBボランティア体験

初の独立リーグBCリーグへの研修企画、新潟での体験に4名が参加

14年10月7日 楽天イーグルス 2015年最終戦 (星野監督引退セレモニー)



2011年からチームを率い、日本一を達成した星野監督の引退は、ひとつの時代の区切となりました。

14年10月11日 中高生スポーツボランティア養成講座の開催



説明会



講義

体験



修了式

9月の募集からスタートした「中高生のスポーツボランティア養成講座」は、29名の参加があり、結果として体験やレポートの提出をへて22名が2月7日の修了式に参加しました。この企画は、将来を見据え、2015年についてもSV2004として継続していきます。

## 2015年 未来

2015年、2020年の東京オリンピック・パラリンピックをひかえ地域のスポーツボランティアであるSV2004へも、さまざまな依頼が増えました。そして、活動の幅も相撲、ワールドカップバレー、未来へと広がりました。

### 15年5月10日 仙台国際ハーフマラソン大会



過去最高の175名での活動は、案内の活動を切り離し記録班では、ボランティアビデオを作成しました。また、実行委員会と連携し、ボランティア報告会も開催ボランティア・マッチングと合わせて、新規のボランティアを継続的な活動につなぐ仕組みがほぼ完成しました。



ボランティア・マッチング 6月6日

7月30日 仙台89ERS Bリーグ1部決定 →



### 8月8日 東北スポーツボランティアサミット in 釜石

東北各県を持ち回りで開催している「東北スポーツボランティアサミット」、11回の今年は初の岩手県釜石市での開催でした。2019年のラグビーワールドカップの開催地を目標に、東日本大震災からの復興のスピードをあげようとしている様子、そして釜石の方々の熱い想いを強く感じることができました。

8月16日 大相撲仙台場所 (15日前日準備) 7千人の観客で盛況



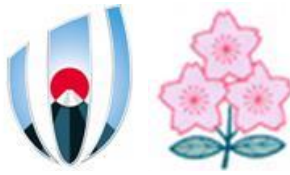
### 8月30日~9月1日 女子ワールドカップバレーボール大会

日本代表が参加したこともあり、連日6,700名前後が押し掛けた仙台市体育館は、その収容数のすごさ、会場の盛り上がりには様々な可能性を感じた反面、体育館の宿命であり、観客サービスレベルに課題を感じました。ボランティアは3日間で延べ210名に達しました。





**10月3日 ワールドカップラグビーPV サモア戦**



ワールドカップラグビー  
2019 日本大会



日本・サモア戦PV

南アフリカからの勝利で、日本国内は未曾有のラグビーブームに。3勝したが決勝リーグには進めなかった。しかし、2019年の日本開催に向けて、大きな進展でした。

**12月6日 仙台市営地下鉄 東西線 開通**

**12月19日 スポーツフリートーク**



恒例の楽天イーグルスこの一年の報告と、ラグビーワールドカップのイギリス大会を視察した釜石の増田氏の報告会を開催しました。次はいよいよ日本の番です。



みんなで作る、みんなの地下鉄。

**1月23日～24日 bjリーグオールスターゲーム**



2016/01/23

11年間続いてきたプロバスケットのbjリーグの最後のオールスターゲームは、実績のある仙台、ゼビオアリーナでの開催となりました。ラストということで前日23日には、全国の仲間呼び掛けて「交流研修会」を開催し13団体の発表がありました。

**2月13日 中高生スポーツボランティア育成講座修了式**



2016/02/24

2年めを迎えた「中高生スポーツボランティア育成講座」の修了式。説明会参加が101名、全てを修了したのは44名でした。

2015年は、活動の場がW杯バレー、大相撲と広がりを見せるとともに、スポーツコミッションや他の組織との連携が増加しました。また、東北サミットやbjオールスターゲームなど交流型のイベントも確実に増えています。さらに、2020年の東京オリンピック・パラリンピックをひかえ、地域のスポーツボランティアへの関心も高まり、取材や講演依頼も過去最高の数となりました。

## 2016年 変革

2015年10月に「スポーツ庁」が誕生し、2019年のラグビーワールドカップや2020年の東京オリンピック・パラリンピックをひかえて、さまざまな取組が始まっています。スポーツを通じた産業革命ともいわれ、ボランティアへの関心も確実に高まっています

### 16年4月17日 89ERS班福島応援企画

高速常磐道を利用し  
いわき市での大会へ  
途中、帰宅困難地域  
が広がり、本当に  
胸がふさがる思い  
でした



### ■ 4月14日 熊本地震

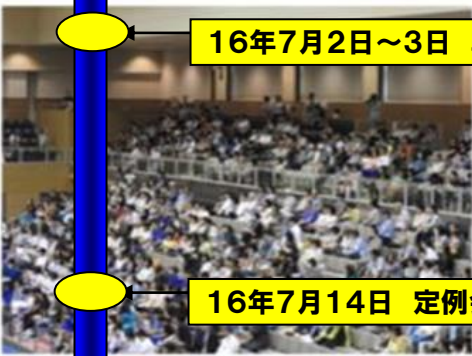


### 16年5月8日 仙台国際ハーフマラソン大会



サポート開始から5年、わずか23分で定員となる人気の大会になりました。ボランティアも毎年改善に取組、2016年は大幅に「案内」担当を強化しましたが、それでももっといいものにするため、課題の多い大会でした。参加ボランティアは171名でした。

### 16年7月2日～3日 卓球日本女子代表合宿公開練習サポート



リオオリンピックを直前に控えて仙台出身の福原選手と同僚の伊藤選手が、青葉体育館で強化合宿を行いました。SV2004からは28名の体制で公開練習の運営を応援しました。結果、ふたりの頑張りもあり女子団体は「銅メダル」を獲得しました。

### 16年7月14日 定例会・研修会



2020に向けての仙台市の取組について学びさらにブラインドサッカーチームのコルジャ仙台のみなさんにブラインドサッカーや視覚障害について教えていただきました



**16年8月12日～13日 大相撲仙台場所**



若い中高生の参加も多かった2016年、きさくな力士が突然エコステーションに登場し、ほほえましい光景でした

**16年9月17日 ラグカフェ仙台開催**

2019年のラグビーワールドカップの周知と支援のため、釜石市や宮城県ラグビーフットボール協会と連携して、ユアテックスタジアムでのトップリーグのイベントで、展示やイベントをまじえてラグカフェを開催



**16年9月19日 仙台サイクルフェスタ**



**10月1日 Bリーグ開幕**



**16年10月8日 フットサルFリーグオールスターサポート**



創設10年にして初めて開催されたFリーグのオールスターゲームの運営をサポート。PK戦を両軍の選手が交互に肩を組み応援する姿と感動しました

**16年12月17日 スポーツフリートークフェスタ 2017**

在仙のスポーツ組織の活動発表を初めて開催しました  
楽天野球団／ベガルタ仙台／仙台89ERS／仙台ベルフィーユ  
ヴォスクオーレ仙台／コルジャ仙台／PARACUP 仙台  
みやぎ・環境とくらしネットワーク／ゼビオアリーナ  
スポーツコミッションせんだい／グランディ21ボランティア／SV2004



**17年2月4日～5日 東北スポーツボランティアサミット in 福島**



スタート以来11回目の「東北スポーツボランティアサミット」の開催地は福島、4日は各地の報告とサムライブルーの料理人として知られる西芳照氏のお話。5日はバスなどで閉鎖中のJヴィレッジと、いわきFCの施設を見学しました。

## 2017年 育成

新たに将来に向けてスポーツボランティアの育成のため、仙台大学・ボランティアインフォと連携し、「仙台スポーツボランティアプロジェクト」をスタートし、研修事業に取り組んだほか、フットサルのヴォスクオーレ仙台や、東北みやぎ復興マラソンのボランティア活動についてサポートしました。

### 17年4月16日 フィギアイベントのサポート



仙台は日本のフィギアスケート発祥の地であり、荒川選手・羽生選手と二人の金メダリストを輩出していることを記念し、地下鉄東西線の国際センター駅前に、モニュメントが設置され、これを祝うトーク企画の運営を手伝いました。



2012年から6年目の仙台国際パーフォーマンスは雨の一日。精一杯のおもてなしを笑顔で。

### 17年6月17日 ヴォスクオーレ仙台スタート

フットサルFリーグに参戦する「ヴォスクオーレ仙台」のボランティア組織の立ち上げに協力、これまであまりできなかった活動終了後の集合写真、活動に「応援」を取り入れるなど積極的に新しいことに挑戦しています。



### 17年7月14日～16日 バレーボール ワールドグランプリ



東北のプロスポーツに関わるチアが仙台に集合、参加したチアだけでも約1,300名、新しいスポーツイベントが誕生し、私たちが会場で御手伝いしました。

(7月29日)



8月はサッカーとなぎなたのインターハイの活動にも参加しました。



恒例となった大相撲仙台場所では、事前に市民向けに「大相撲を3倍楽しむ講座」を開催、そして  
いよいよ2019年に迫る「ラグビーワールドカップ」にむけ、ラグビートークもスタートしました。

### 17年8月19日 ラグビートークイベント

記念の第一回は釜石シーウェイブスの理事でもある  
浜登さんに御願いし、釜石でのワールドカップ開催迄  
のいきさつなどをお聞きしました。

尚、2回目は12月に「釜石の夢」(講談社文庫)の  
著者である大友信彦氏をお招きし開催しました。



### 17年11月11日 スポーツボランティア初級研修



本年は初級研修を日本スポーツボランティアネットワーク (JSVN) の協力で2回実施し171名が  
受講、年明けに実施したリーダー研修にも43名の参加がありました。



スケジュールの関係で初めて年明けの開催となったスポーツフリート  
ーク、仙台市からは2018年に「スポーツボランティアステーション」が  
設置されること、大坂さんからは、7月に「仙台スポーツ映画祭」が計画  
されていることが発表されました。

楽天イーグルスの基調講演にベガルタ、仙台89ERS、ヴォスクオー  
レなどのボランティア報告、ほぼ満員の参加者に2018年の夢を伝えま  
した。

### 18年3月24日~25日 バドミントンTOP4トーナメント活動

一年のラストは初めてのバドミントンの活動、  
日本のトップレベルの選手が国内初の賞金大会に  
挑戦、激しい攻防を繰り広げました。



第13回の東北スポーツボランティアサミットは、12月  
9日に秋田で開催されました。2018年は新潟での開催  
となります。

## 2018年 レガシー

大規模なスポーツの国際大会をひかえ、全国的にスポーツボランティアへの関心が高まり、SV2004の会員も過去最高の122名、3法人を記録、オリパラやラグビーに関係したイベントや活動も多くなりました。

### 18年4月18日 羽生選手パレードのサポート



SV2004からは64名が参加しました。観客は主催者発表で10万8千人。全国から本当に多くの方々がきてくれました。

### 18年5月13日 仙台国際ハーフマラソン



最大規模の210名の仲間とサポートしました。みんなの笑顔に出会える場所です。



### 18年5月27日 ラグビーイベント

弘進ゴムアスリートパーク仙台（仙台市陸上競技場）で開催された「釜石シーウェイブス」の交流試合でワールドカップ釜石大会の告知を応援しました。（27名参加）

### 18年6月10日 スポーツボランティアマッチング

恒例となったイベントには11団体63名の参加がありました。

### 18年7月21日～22日 せんだいスポーツ映画祭



2018年からはじまったイベント、いつか仙台を象徴するイベントになってほしいと思います。

**18年8月19日 釜石鶴住居スタジアム完成**

SV2004より6名がボランティアとして参加



**ラグビーワールドカップ関連のイベント (抜粋)**

- 4月18日
- 県ラグビー協会打合せ (3回開催)
- 5月27日
- 釜石ラグビーイベント (市陸)
- 7月21日 スポーツ映画祭
- 釜石岩崎さん講演
- 8月19日
- 釜石鶴住居スタジアム完成
- 11月12日
- スポーツシンポジウム釜石ブース
- 岩崎さん講演

**オリンピック・パラリンピック関連のイベント (抜粋)**

- 7月29日～8月26日
- ボランティア説明会(6回開催)
- 9月5日
- 都市ボランティアシンポジウム
- 9月22日
- スポーツまちづくりトーク
- 「パラスポーツの楽しさを知ろう」
- 9月25日～26日
- イタリア合宿バレーボール親善試合
- 11月6日
- オリンピック・パラリンピック会議
- 11月11日
- オリパラボランティア報告会
- 11月26日～12月1日
- 車イスバスケット女子代表合宿

**18年11月18日 救急研修会**

各球団と連携し合同での実践的な研修会を開催



**19年1月19日 スポーツフリートーク**

新年企画として定着しつつあるイベントで、第一部は「スポーツと地域の2019」として観光やオリパラ、ボランティアステーションを取り上げ、第二部は「プロスポーツの力と2019」として各チームの取組や目標についてお話しいただきました。



**【その他の主要なイベント】**

- 8/10-12 大相撲仙台場所 ・ 9/7-9 Bリーグ東北アーリーカップ
- 12/8 嶋基宏の愉快的な仲間たち大運動会 ・ 2/15-17 浅田真央サンクスツアー

## 2019年 ONE TEAM

ラグビーワールドカップ2019、日本代表の奮闘によってわき返り改めてスポーツのすばらしさを感じた一年でした。SVとしても会員数137名を記録、5月には「仙台スポーツボランティアステーション」も発足しました。

### 19年4月13日 頑張ろう東北デーラグビー釜石イベント



### 19年5月8日 せんだいスポーツボランティアステーション発足

### 19年6月30日 スポーツボランティアマッチング

登壇団体はプロスポーツをはじめ10団体、参加者は102名とこれまでで最大規模のイベントとなりました。



### 8月24日(土) 仙台スポーツ映画祭、ラグビートーク

「ラグビーワールドカップがやってくる」というテーマで、まち映画「グラス☆ホッパー」の上映と、その映画を製作したプロデューサーの宮地さん、釜石リンクの遠藤さん、元ラグビー日本代表の大野さん、スポーツライターの大友さんによるトークイベントを開催しました。司会進行は「高校生連携協議会」のメンバーが担当しました。



19年9月22日～23日 東北スポーツボランティアサミットin釜石



第15回となる東北スポーツボランティアサミット、2015年の釜石でのサミット開催の際に、ワールドカップのときに集まりましょう、という誓いを果たせました。当時なかったスタジアムも完成し、SV2004の仲間も本番でボランティアに参加します。サミットでは大阪や関東からの参加もあり、なごやかであたたかい交流がみられました。

19年11月29日 豊齢ネットワークまつり



仙台市シルバーセンターのイベントに参加、センターと連携して「ほうれいスポーツボランティア・ネットワーク」を立ち上げました。50歳から74歳のまさにスポーツボランティア適齢期のみなさんが学ぶ学園。今後の連携が楽しみです。

> 2020年4月1日段階で登録メンバーは早くも25名に達しました。

19年12月21日 卓球ジャバントップ12

卓球では初めてのボランティア活動に参加しました。

年が明けて2020年は中国から始まった新型コロナウイルスの感染拡大が、瞬く間に日本、そして世界に広がり、3月以降のスポーツイベントはすべて中止・延期に追い込まれました。

同時に私たちスポーツボランティアも自粛の日々を過ごしています。けれど、私たちはスポーツが人を元気にし笑顔にすることを知っています。乗り越えましょう、この時を。



## 2020年 with コロナ

春、気温上昇とともに全国に拡大した新型コロナの感染。その影響でスポーツをはじめイベントの中止や延期が相次ぎ、6月ごろまで自粛生活が続いた。地道に、できることで何より安全安心を大切にしながら活動をした一年でした。

### 2020年4月26日 乗り越えようホームページ開設

ボランティアの孤立を防止し、各地の様子や会員の近況を知らせるホームページを開設したり、会員には毎週近況の連絡をするなどコミュニケーションの低下につとめました。



### 2020年6月21日 ウォーキング企画開始



自粛期間中に会員アンケートを実施、コミュニケーションの低下、モチベーションの低下、そして、体力の低下が懸念されたため、仙台市内を仲間の協力を得て歴史を学びながら歩くウォーキング企画を実施しました。冬季期間を除き、参加者も増加し現在では、SV2004の人気企画として定着しています。

また、7月には「オンライン」の研修会と軽運動の研修を屋根のあるフットサル場で開催し、定員となる人気でした。



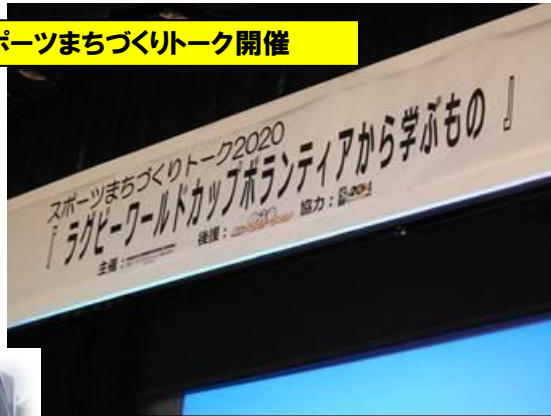
### 2020年7月12日 感染症研修会開始

仙台市及び各プロスポーツのボランティア組織と連携し、いち早くボランティアの安全と安心を守るために「感染症」の研修会を開催しました。同時にボランティア組織同士のオンラインでの情報交換も実施し行政より、感染症防止のための物品(マスク・消毒液・フェースシールドビニール手袋など)のサポートを受けられる仕組みもできました。



## 20年8月2日 スポーツまちづくりトーク開催

感染拡大後初のトーク企画  
予防のための対策を講じて  
開催しました。  
テーマはラグビーワールド  
カップボランティアから  
学ぶものでした。



## 9月27日 初の単発ボランティア活動

泉ヶ岳トレイルランの大会ボランティアの  
活動に参加、これまでボランティアの参加の機会がなかった大会でしたが、  
単発のイベントで経験を積むことができました。



## 20年10月4日 釜石オンライン企画開催

釜石でのラグビーワールドカップ1周年の一環  
として、仙台会場と釜石の鶴住居スタジアム、  
さらに、愛知県豊田市をむすんでオンラインイベントを開催しました。



## 20年11月1日 スポーツまちづくりトーク vol.2

2020年2回目のまちづくりトークは「映画でつなぐスポーツと地域」というテーマでの開催でした。  
11月13日-14日には恒例の仙台スポーツ映画祭、12月13日には初めて  
アイスリンク仙台でのフィギア仙台市長杯でのボランティア活動に参加しました。

## 21年2月11日 スポーツフリートーク



震災から10年その間の仙  
台・宮城のスポーツの振り返り(スポーツコミッション武  
田さん)、プロチームの報告  
と、新たな女性スポーツ(マ  
イナビ仙台レディース/リ  
ガーレ仙台)の報告がありま  
した。



**3月11日(木)** スポーツのちからで未来にあかりを  
(約80名参加)

在仙のプロスポーツが連携し、震災10年をきっかけとして  
LEDで文字を作り祈りを届けました。



## 2021年 時代の変化

前年に続きコロナの影響が色濃く、イベントの中止やボランティア活動への制限がみられました。延期となった東京オリンピック・パラリンピックも同様で、宮城のみが有観客で開催された以外は無観客での開催となりました。

### 21年6月21日 オリンピック聖火リレーセレブレーション

様々な制限の中での聖火リレー到着式が市陸で開催されボランティアも活動しました。



2021年、仙台にはプロスポーツや施設型の4つのボランティア組織が誕生し、スポーツを地域課題の解決につなげる共生社会作りの活動や、個人の持っているスキルを活用した取組などに、時代の変化を前向きに取り入れて活動の幅を広げました。

7月10日(土) カメイアリーナ見学案内スタート(時間をかけて準備した施設型ボランティアです)



### 21年7月18日 中高生スポーツボランティア育成講座研修会

コロナの影響を考慮し、夏休み期間に特化して開催し、45名が修了しました。

オリンピックの活動



ボランティア手作りのブーケ



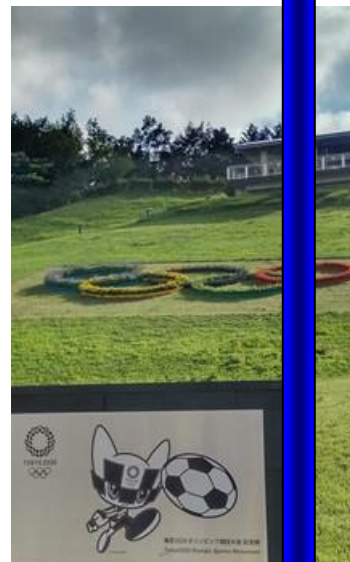
仙台駅インフォメーションのオリンピック結果速報板の手作



アーモイタリア(イタリア応援)のTシャツ



宮城スタジアムと記念板



仙台駅インフォメーションには多くの方が立ち寄ってくれました。雑がみの千羽鶴は「せんだい・みやぎ2020」の中高生が、2年前から多くの人と作ったもの。仙台駅で来場者を迎えました。



**21年9月12日 WEリーグ マイナビ仙台レディース開幕戦**

4つめのプロスポーツチームとして、女子プロサッカーのマイナビ仙台レディースが誕生、ボラ活動もスタートしました。

**10月30日(土) 「スポーツと防災」研修**

東日本大震災から10年改めてスポーツと防災についての研修会を開催。



**11月13日(土)・14日(日)**  
リガレ仙台ホーム開幕戦 (富谷)



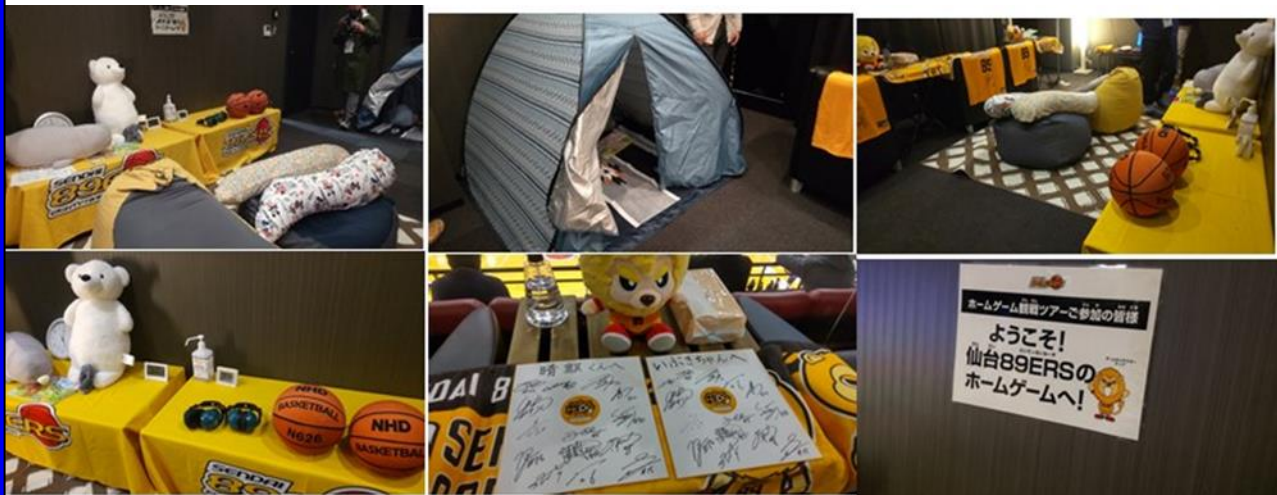
### 1月16日(日) スポーツボランティア主催者研修会

スポーツのボランティアの変化や、活動の意味についてスポーツイベントの主催者に理解してもらうことはこれからとても大事なことです。今回初めて行政やプロスポーツなどの窓口の方々への研修会がコミッションによって開催されました。「まちだサポーターズの活動について」「東京2020大会とボランティアの可能性」「仙台・宮城のボランティア」



### 3月20日(日) センサリールーム実施 (仙台89ERSホームゲーム)

仙台初、Bリーグでは初の取組、センサリールームとは、発達障害などでの感覚過敏の方々に、音や光を抑えた空間で、ご家族などでスポーツ観戦を楽しんでいただくものです。主催はスポーツコミッションせんだい、SV 2004もボランティアとして手伝いました。



### 3月27日(日) マイナビ仙台レディース「応援花」企画実施

主催は「マイナビ仙台レディースホームタウン協議会」ですが、SV 2004の花班のメンバー有志が準備段階から手伝いました。



## 2022年 転換の年

新型コロナの影響が大きかった三年、新しい活動を見つけ仲間や関係組織と育て、仙台・宮城のスポーツボランティア組織は10組織になりました。

### 22年4月23日 SV2004総会

※共生社会作りのためのセンサリールームの活動や、新たに東北大学などと共にボッチャ体験の活動が始まりました。ボッチャの仙台市長杯という大会や県ボッチャ協会の発足もあり、点ではなく継続する活動になってきました。



### 22年5月8日 仙台国際ハーフチャレンジ大会

コロナの影響に配慮し、ランナーを約4,000人に縮小しての大会でしたが、ボランティアは予測を超える300名が応募、その中で250名が活動しました。



### 22年6月5日(日) スポーツボランティアマッチング

ボランティアが必要な団体と活動を希望する方々のマッチング企画は、年間で二回開催しました。初回は74名1月23日には70名が参加、その場で登録される方も多く関心の高まりをかんじました。

### 22年7月16日(日) 中高生スポーツボランティア育成講座説明会

2014年から始まった中高生のためのイベント、少しずつ研修会の内容も変えながら本年も説明会を開催、参加者が過去最高となったこともあり、合計4回に141名が参加しました。三回以上の体験活動とレポート提出を経て、最終的には過去最高の120名が修了しました。





夏の全国高校野球は22日、決勝が行われ、宮城の仙台育英高校が山口の下関国際高校に8対1で勝って初優勝しました。東北勢の優勝は春夏通じて初めてです。

夏にはバスケットの3X3やランバイクのボランティアもあり、新しい種目の活動に挑戦しました。

**22年12月18日(日) フィギュアスケート仙台市長杯**



アイスリンク仙台などで練習している選手たちのための年一回のイベントは、サプライズで羽生選手が登場したり、応援花として準備した花が選手一人一人にプレゼントされたりで盛り上がりました。

**23年3月26日(日) SV2004総会**



コロナが沈静化したことを受けて、私たちの活動と連携していただいている様々な団体にも参加いただき開催しました。

- ・日本スポーツボランティアネットワーク
- ・スポーツコミッションせんだい
- ・仙台市生涯学習支援センター
- ・楽天野球団
- ・リガール仙台
- ・宮城県保健福祉部

2022年のトピック

会員数過去最高・仙台ハーフ一般ボランティア過去最高



4月1日から2024年3月31日の活動をまとめました

コロナの影響が落ち着きを見せた2023年、スポーツイベントも日常を取り戻しボランティアの活動機会も増えました。また、会員独自の楽しむための活動も活発になりました。



- 4月8日(土)・10日(月)** 第19回ウォーキング
- 4月26日(水)** 全国都市緑化フェア仙台開催  
(～6月18日)
- 5月4日(木)** 全国都市緑化フェア  
フラワーカーペットボランティア (～7日)
- 5月7日(日)** リーグワン入れ替え戦ボランティ



- 5月13日(土)** 仙台国際ハーフマラソン初心者研修
- 5月13日(土)** 仙台国際ハーフマラソンボランティア説明会
- 5月22日(月)** 仙台国際ハーフマラソンリーダー打合せ
- 6月4日(日)** 仙台国際ハーフマラソン2023
- 7月1日(土)** スポーツボランティアマッチング  
(エル・パーク仙台)
- 7月14日(金)** なでしこジャパン壮行試合  
(ユアテックスタジアム仙台)
- 7月17日(月・祭日)** 中高生スポーツボランティア育成講座  
研修&説明会
- 7月31日(日)** 釜石ラグビートーク (エル・ソーラー仙台)
- 8月6日(日)** 大相撲仙台場所



- 9月3日(日)** スポチャレ in FUN-TE
- 9月16日(土)** ツールド東北 (～17日も)
- 9月16日(土)** 釜石絆の日イベント
- 9月17日(日)** ブラインドサッカー北日本リーグ
- 9月18日(月)** ゼビオ周年記念コンサート・センサリールー
- 9月23日(土)** FUN-TE 5周年記念イベント
- 9月24日(日)** 泉ヶ岳トレイルラン

**10月22日(日)** SV2004定例会 (日立システムズホール 43名参加)



**10月29日(日)** 中高生スポーツボランティア育成講座修了式  
2023年の育成講座では、63名が修了し、34名が修了式に参加してくれました。

**11月3日(金)** 東北スポーツボランティアサミット  
初日 (カメイアリーナ・楽天モバイルパーク)

**11月4日(土)** 東北スポーツボランティアサミット  
2日目 (カメイアリーナ)

東北スポーツボランティアサミットの初日は、カメイアリーナ仙台で、参加団体の活動事例発表会、その後楽天モバイルパークに移動し、球場見学と交流会を開催、森井社長の講演とグループワークを開催しました。その後、仙台89ERSのボラ体験や、5日の東北みやぎ復興マラソンでのボラ体験まで多彩なイベントを楽しんでいただきました。



**11月5日(日)** 東北みやぎ復興マラソン大会

**11月23日(木)** スペシャルオリックス ボッチャ体験会

**12月3日(日)** アメリカンフットボールボランティア (ユアテックスタジアム)

**12月3日(日)** スポーツまちづくりトーク (福祉プラザ)

**12月15日(月)~17日(日)** ハンドボール日本選手権(男子)ボランティア (カメイアリーナ仙台)

**12月17日(日)** フィギア仙台市長杯ボランティア (アイスリンク仙台)



**1月7日(日)** バドミントンS/Jリーグ観戦企画

**1月8日(月)** SV初詣ウォーキング (11日も)

**2月10日(土)** マナーアップ研修会 / スポーツフリートーク

**2月12日(月)** SV定例会

**2月17日(土)~18日(日)** フットサルFリーグ入れ替え戦 (ヴォスクオーレ仙台1部昇格)

**2月24日(土)** T-Fiveボランティア (カメイアリーナ仙台)

**3月23日(土)** SV2004 年次総会

**3月30日(土)** ラグビーリーグワン浦安D-Roxボランティア

**3月31日(日)** 仙台89ERSセンサールーム



# SV2004について

## 【誕生の経緯】

SVとは、文字通り「スポーツボランティア」の略であり、1998年からスタートした「ブランメル仙台」（現在はベガルタ仙台）のボランティアや2001年の国体、2002年のワールドカップ宮城大会のボランティア経験者の有志が集まり、幅広いスポーツをボランティアとしてサポートする目的で2004年に発足しました。

## 役割（ミッション）

スポーツをより楽しくコーディネートし、ネットワークを通じて、環境改善にも取り組むことでスポーツの振興と、スポーツに関わる人々の社会的認知を高めることに貢献します。

- 私たちはスポーツのボランティア活動は「楽しく」あるべきだと思います
- そのため、ボランティアと運営組織、ボランティア同士のコミュニケーションを大切にします
- 思いをともにする人々とのネットワークを構築します
- 活動するボランティア環境の改善、そしてエコ活動にも取り組みます
- サポートするイベントが継続しよりよいものになるようサポートします
- スポーツボランティアの活動が多くの人に理解され知っていただけるよう活動します

## 活動（アクション）

活動の記録・報告はSVホームページをご覧ください

- ★ スポーツ全般のコーディネート活動 … 楽天イーグルス・仙台89ERSボランティア組織立ち上げサポートなど
- ★ スポーツ及びボランティアのセミナー活動 … 接客・エコ・救命・災害・コミュニケーション・入門セミナーなど多数
- ★ スポーツに関する調査・企画・提案活動 … ボランティアアンケートの実施など
- ★ スポーツ情報発信活動 … SVニュース、ホームページからの情報発信など
- ★ スポーツネットワーク・交流活動 … 全国スポーツボランティアとの交流会の開催、東北スポーツボランティアサミットの開催
- ★ スポーツ環境改善活動 … エコステーションの普及取り組みなど

**会員募集中！自主企画も含めたSV活動全般に参加する正会員と中高生対象の準会員  
活動趣旨に賛同するサポート会員があります**

## 【入会方法】

- ◎ 正会員 … 年会費1,000円（年度は4月～翌年3月となります） 準会員(中高大学生・学生)は無料となります
- ◎ サポート会員 … 年会費 個人 一口2,000円 法人 一口10,000円
- ◎ お支払い方法…郵便振込み 郵便口座 18190-25930651 SV2004まで(振込み料はご負担願います)  
または、SVが主催するイベント会場にて入会を受け付けます。(イベントはホームページでご案内します)
- ◎ 申し込み先 郵送の場合 〒981-8003 仙台市泉区南光台5-24-23  
市民スポーツボランティア SV2004 泉田 宛て  
メールの場合 izumita@dm.mbn.or.jp FAX 022-274-1469
- ◎ 申し込み書はホームページよりダウンロードできます <https://sv2004.jimdo.com/>